



せっかいがん 石灰岩

皆さんは、石灰岩を知っていますか？身近にたくさんある石なので、きっと一度は目にしたことがあると思います。石灰岩は、海の中の石灰成分（炭酸カルシウム）が固まってできた堆積岩です。堆積岩とは、砂や泥、レキ（小石）がたまって、長い年月をかけて硬い岩石になったものです。石灰岩は、海のサンゴ礁や貝殻、石灰質のプランクトンの殻などの石灰成分が堆積してできた岩石ですから、よく化石が見つかります。

宮崎県庁本館の石灰岩には、五ヶ瀬町の古生代のサンゴ化石が、宮崎駅の石灰岩にはアンモナイト化石が見つかります。総合博物館のエントランスロビーの壁も石灰岩です。あまりたくさんは見つかりませんが、貝の断面や丸いプランクトンの殻などが見つかります。博物館入口には「メガロドン石灰岩」という大型の二枚貝を含む巨大な石灰岩も見られます。ぜひ、遊びに来てください。



みやはくデジタルコレクション

様々な理由で、博物館に頻繁に来られないという声をいただくことがあります。そんな皆さんに朗報です。ぜひ右下のQRコードを読み込み、「みやはくデジタルコレクション」から“バーチャルみやはく”をのぞいてみてください。そこでは、今いるその場所から博物館内を360°ぐるっと見渡すことができます。やよいちゃん達による、みどころ解説もあり、博物館に来たかのような体験ができます。また、「やよいちゃんをさがせ！」は、バーチャル展示室に隠れている、「やよいちゃん」を見つけるゲームで、スタンプを7つ集めると、認定証の画面が表示されます。その画面を保存し、来館できる時に総合案内で提示すれば、ささやかなプレゼントがもらえます。

ここをよみこんでね



博物館クイズ

右の写真の道具は、江戸時代に商人や旅人が使っていた矢立というものです。さて、これは何に使う道具でしょうか？

- ①筆記用具 ②お茶の道具 ③武器を入れる道具



矢立（やたて）は江戸時代に商人や旅人が使っていた道具で、矢（や）を立てる（たて）ために使ったもの。

